

財務戦略について

将来の見通しの記述について

本資料にある計画、戦略、業績予想等に関する記述は、記述した時点で当社が入手できた情報に基づいたものです。これらの予想・予測には、当社を取り巻く経済情勢、競合環境、関連法規、為替レート等不確実な要素が含まれており、これらの予想・予測を覆す潜在的なリスクが顕在化する可能性もあります。

したがって、将来の実際の業績・事業環境等が本資料の記述と異なったものとなる可能性があることをご承知おきください。

財務戦略

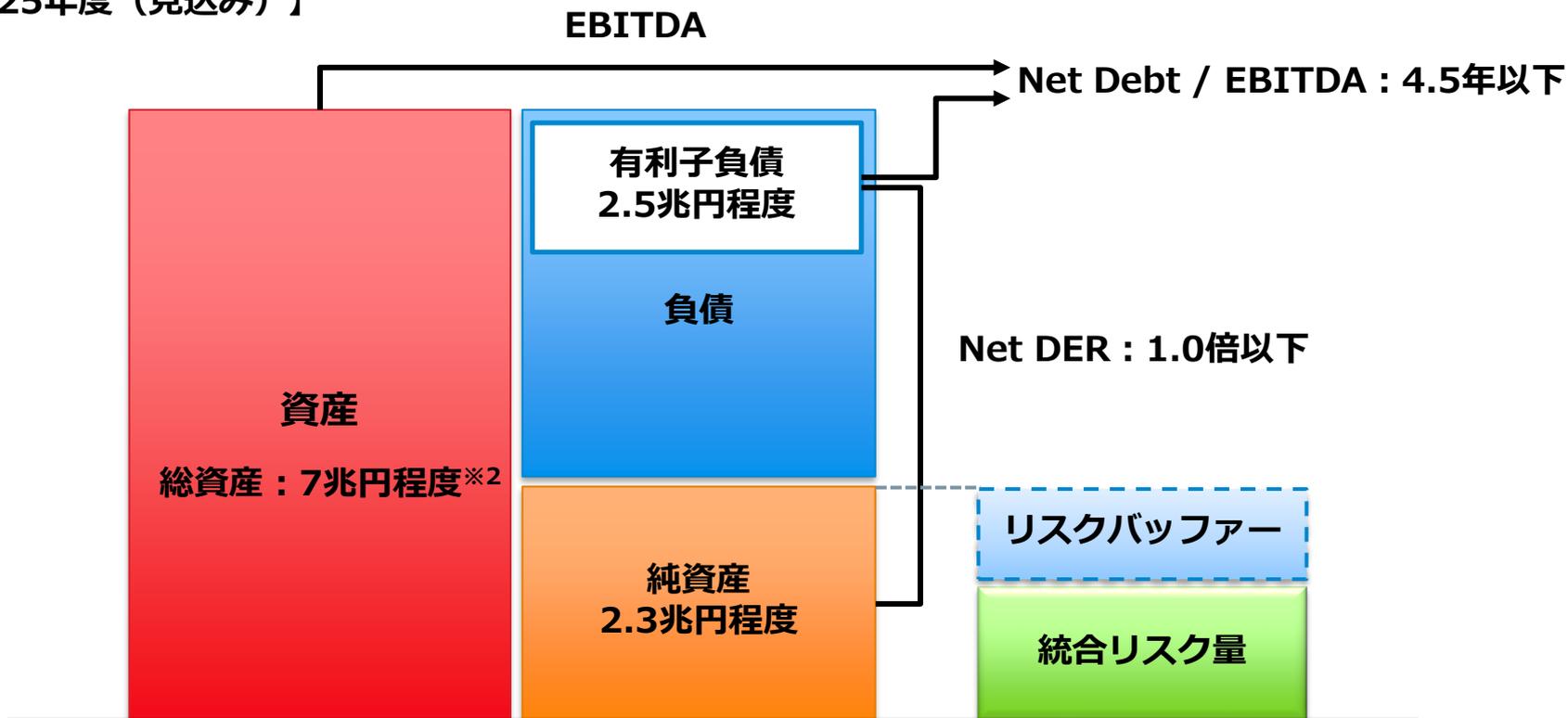
- 財務健全性を維持しつつ、成長投資を推進。
- 「率」としての「Net DER」は、「1.0倍以下」を目標とし、財務健全性を維持。
- 「額」としての自己資本は、統合リスク量を上回る規模を保有。

		現在		2025年度
最適資本構成 バランスシート マネジメント	安全性	-	▶	Net DER 1.0倍以下
	債務返済能力	-	▶	Net Debt/EBITDA 4.5年以下
	信用格付	A格	▶	A格
	リスクキャピタル	-	▶	統合リスク量を上回る規模
キャピタル・ アロケーション	資金配分	-	▶	持続的成長に向けた投資を推進
	規律	十分な営業キャッシュフローを確保		

財務戦略 – バランスシートマネジメント –

- A格を維持するためのバランスシートマネジメントを実施。
- 純資産は、統合リスク量を上回る規模を保有※1。

【2025年度（見込み）】



※1 当社が保有するリスクを「市場リスク」「信用リスク」「オペレーショナルリスク」の3つに定義し、統計的に発生確率が計算可能なリスクである「市場リスク」「信用リスク」から統合リスク量の定量化を実施。統合リスク量とリスクキャピタルとの差分を「リスクバッファー」と定義
発生確率が計算できないオペレーショナルリスクの存在を考慮し、一定のリスクバッファーの水準を維持する方針

※2 現預金3,000億円を含む

- 2022年度～2025年度の4年合計で、営業キャッシュ・フローを中心とした1兆6,000億円程度のCash-inを基に、持続的な成長を目的とした成長投資に積極的に配分。
- 成長投資のうち、脱炭素関連事業には、6,500億円程度の資金配分を予定。
- 安定供給関連分野には、6,000億円程度の資金配分を予定。

< キャピタル・アロケーション >

